

「たなカー&ぷらっと」の一年

Annual Activities of "Tana-car and puratto" in 2011

— "裏" プロジェクト特集 —

—Feature of "Ura" Project—

text_kitagawa

研究室のプロジェクトとは別に、個人が様々なフィールドでまちづくり活動を展開しています。今号では、その内の一つである「balloon」の活動内容について、代表を務めるD1の鈴木亮平さんに語って頂きます。

D1 鈴木 亮平

2010年4月、他研究室の学生と「balloon」を結成しました。現在は、専攻の異なる他大学の学生、社会人も含め、幅広い視点で都市を捉えながら、地域住民の方々と共に、まちづくりを進めています。3年目を迎える2012年春にはNPO法人化し、まちづくりの主体としての実行力を持つ組織作りをしていく予定です。

商店街が衰退し、それによって住民が集まる場を失った地域において、「たなカー」という移動店舗と、その発着場となり人々が集う「ぷらっと」という空間の創出を行っています。「たなカー」は軽トラックやバン、リアカーなどを用い、地域内に店舗を創出することで、人々が集まるきっかけを作ります。集まった人々の滞留空間として、地域に合った「ぷらっと」のデザインを目指しています。今回は2011年に進めた4つのプロジェクトを紹介します。

balloon

urban design partners -since 2009-

HP : <http://www.tanacar.co.jp/>

twitter : ball66n

facebook : <http://www.facebook.com/ball66n>

[お知らせ]

3/25(日)「きやっせ物産展 2012」@幕張メッセ
"ちばコープ"とのコラボブース出展決定!!

yamakura

香取市山倉

高齢化・過疎化が進む中山間地にて移動販売を行う住民組織と活動中。販売場所となる「ぷらっと」を制作。同時に、車に搭載するキットを開発中。



kashiwa village

柏市柏ビレジ

商店街が衰退した郊外戸建て住宅街にて、住民組織と協働で活動中。「たなカー」を用いたイベントを定期的開催。今年は商店街の空き店舗活用を検討。



komagidai

流山市駒木台

高齢者施設と協力し、施設の駐車場に「ぷらっと」を設置。地域に開いた施設のあり方を模索中。地元農家の「たなカー」によって、「ICHIBA」を開催。



kodomo tana-car

こどもたなカー

住民と共に作る「たなカー」の1つ。地域の子ども達が設計・制作し、仕入れも自分達で行い運営する。柏・流山の他、ヨコハマトリエンナーレにも参加。

東京で異国文化に触れる

Contact with the foreign culture in Tokyo

ーイスラム教の礼拝堂を見学ー

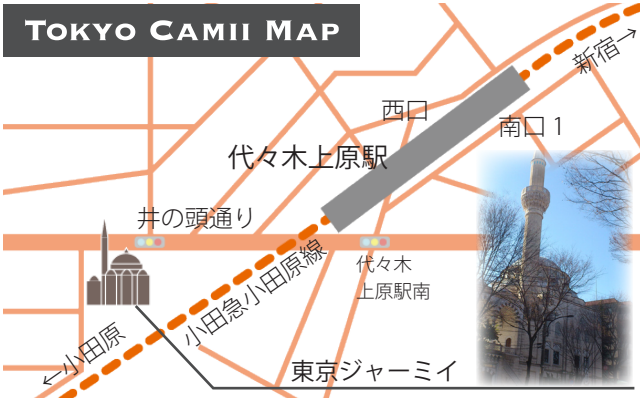
ーVisit to Islamic Chapel; Mosqueー

新年を迎えた1月13日に、都市デザイン研マガジン編集部M1一同で代々木上原へ。モスク見学を報告して頂きます。

text_ishii



▲集会後の立ち話の様子。様々な人種の人が集う。



1月13日(金)に催されたマガジン編集部の社会科見学は、代々木上原にある東京ジャーミイへ行きました。井の頭通り沿いに突如現れる本格的なイスラム建築と外観の細部にわたる装飾を目の当たりにし、編集部員の気分は高揚気味に。建物内では親切な職員の方が、イスラム教や文化について丁寧に説明してくれ、「イスラムは砂漠の宗教と思われがちだが、実は商業と都市の宗教である。メッカなどのイスラム都市は商業都市として一早く市場が発展していった。」というお言葉を聞き、まだ訪れた事が無いイスラム都市への思いが募るのでした。

その後の礼拝見学では、女子はスカーフを巻き、男女別々の場所から金曜礼拝に参加しました。モスク内を埋め尽くす人々がお祈りを捧げる光景に、改めて宗教や文化について考えてみたくなりました。



▲日本である事を忘れてしまうような雰囲気



▲職員に取材交渉を行う石井編集員

プロジェクト報告

今年もプロジェクトが本格始動!

Projects are going into high gear!

1月に入り、早速大きな動きのあった神楽坂PJ(ワークショップ)と大槌復興PJ(現地調査)からの報告です。

神楽坂 Kagurazaka-project プロジェクト

D1 神原 康介

1月17日(火)に神楽坂の素敵な建物探し第5回勉強会で、D1 神原とM1 仲村が「文化財の活用とまちづくり」というテーマで発表&ワークショップを行いました。今年度の締めくくりとなる最後の勉強会ということで、今後のまちのビジョンをもとに登録文化財活用や活動をどのように展開させることが可能なのか、ワークショップにて幅広く議論を行いました。

手法としてワークショップが適切かどうかは課題が残りましたが、日頃の勉強会では聞けない地元ならではの意見が集まり、神楽坂の次の一手につながる貴重な議論を行えました。

印象に残ったのは、行動を起こして小さくても1つ成功例を作ることが大事だという話です。当日出た具体的な取り組み案をまとめ、今後の作戦を練ろうと考えています。今後もネットワーク軽く、まちの中で動きながら考えていきたいです。



▲ワークショップの様子



▲参加者から神楽坂への思いが集まる

大槌復興 Otsuchi-project プロジェクト

text_omori

1月20日(金)~22日(日)にかけて、大槌町で「大槌:記憶再生プロジェクト」と銘打って、仮設住宅を含め全10会場を巡り、町民の方から震災以前の写真や動画を収集し、同時に震災以前のかつての街の様子についてお話を伺う活動を行いました。この取り組みの目的は、お祭りのルートや町民の思い出に残っている場所を出来る限り記録し、その要素を復興プランの中に盛り込めないか、というものです。景観研の方々や野原先生(横国大)、岡村先生(首都大)、田中暁子さん(東京市政調査会)、都市工学科3年など総勢約20名で活動しました。

やはり普段の街の様子の写真は少なく、祭りの写真が大半でしたが、何気ない日常の写真や戦後すぐの写真なども集まり、被災前の大槌町の暮らしがだんだんと明らかになりました。町民のみなさんの温かいご協力にも非常に感動しました。



▲地図に撮影地をプロット



▲学部3年生も大活躍!

Information

2月の予定

- 2月6日 M1 ジュリー
- 2月7~8日 修士論文審査会
- 2月9~10日 鹿児島PJ 現地訪問

★ 編集後記

北川 貴巳

この時期になると、一年前を思い出します。卒業論文の発表に向けて、資料をつくったりプレゼンの練習をしたりと、完成間近の希望と最終発表の不安が入り交じった感覚。そして何より心に焼き付いているのは、完成まで日々精進しながら互いに頑張ってきた研究室の仲間存在です。現在、研究室ではM2の先輩方も修士論文のラストスパートへ。あと少し、頑張ってください!ファイト!!!